

# 令和7年度 学校自己評価

中津市立三保小学校 (2月)

1 学校の教育目標

自問して、みんなで伸びる三保っ子の育成

2 育成を目指す資質・能力

人間関係形成能力

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評価判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～89%
C	…達成率60～69%
D	…達成率60%未満

生きて働く知識・技能の習得  
思考力・判断力・表現力の育成  
学びに向かう力、人間性等の涵養  
働き方改革の推進

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次期（次年度）に向けての取組	
夢や目標を持って、自ら学び続ける力の育成	①中津市標準学力調査でC層の児童の割合 ※国語20%以内 ※算数20%以内 ②単元テスト「知識・技能」80点以上の児童を80%	学校	○基礎基本的な学習内容の定着	①授業者は、単元ごとのテストのやり直しを徹底するとともに、定着度が低いと思われる問題については、類似問題に取り組みさせる。 ②担任等は、朝読書の時間を週2回以上は確保し、その時間は、静かに読書をさせる。	A	○単元テスト知識技能80点以上の児童を80%以上にする。 国語98.7% 算数117% ○朝の時間は、宿題等のやり直しを行っているので、時間を区切って読書タイムに切り替えるようにしている。
		家庭	○学習習慣・生活習慣の確立	○保護者は勉強時間・就寝時刻が守れるように我が子に声かけする。	A	○勉強時間の声掛け90%・就寝時刻の声掛け99%が肯定的回答。
		地域	○学校への支援活動の推進	○学校の教育活動に、ゲストティーチャーとして学習支援を行う。	B	○「生活科」や「総合的な学習の時間」などに、ゲストティーチャーとして授業に関り、学習内容の充実を図った。
自ら考え、進んで行動することができる力の育成	③「授業中、友だちと自分の考えを比べて考えることができた」と答える児童の割合を90%以上にする ④単元テスト「思考力・表現力・判断力」80点以上の児童を65%	学校	○算数における三保スタイルの授業実践の確実な実施	①児童は算数授業のスタート時に、単元プランをもとに自らめあての確認ができるようにする。 ②授業者は算数の授業で【ペア・グループ学習】【ぶらぶらタイム】など全児童が声を出す場面を1週間に3回以上設定する。	A	○「友だちと自分の考えを比べた」90%の達成率 ○単元テスト思判表80点以上の児童を65%以上にする。 国語81.9%（達成率126%） 算数72.8%（達成率112%）
		家庭	○家庭内対話の充実	○保護者は毎日、今日の出来事を子どもに聞く	A	○【今日の出来事を子どもに聞く】92%ができたと回答。 ○保護者アンケートを通じての啓発活動を今後も取り組んでいく。
		地域	○あいさつの推進	○ゲストティーチャー等は交流やサポートで出会う児童に先手挨拶をする。	A	○地域の方々に「先手挨拶」に取り組んでもらっている。
自他を大切に、誰とでも協働できる力の育成	⑤「以前と比べて成長できた」と答える児童の割合を85%以上にする。 ⑥「みんなと力を合わせて取り組めた」と答える児童の割合を85%以上にする	学校	学習や生活の中に、自分や他人を大切に活動する。	①月に一度、学級活動の中で、自問ノートの内容を扱った指導を、クラスの実態に合わせた形で行う。 ②担任等は、人間関係づくりプログラムを月2回以上行う。 ③教員は生活科・総合的な学習の時間で、自らの学びを意味づけたり、学びを友だちと共有したりする「ふり返し」の場面を月1回以上位置づける。	A	○【成長できた】93.6%（目標達成率104%） ○「力を合わせた」98.1%（目標達成率109%） ○「自問清掃」「自問ノート」の取組を今後も継続する。
		家庭	○子どものお手本となる言葉遣いの実践	○保護者は「ありがとう」の声かけをする。	A	○「ありがとう」の声かけ95%ができたと回答。 ○引き続き、学級懇談会や学校通信、学級通信等で繰り返し学校での取り組みを説明し、啓発活動を進めて行く。
		地域	○児童の頑張りを認め、ほめる	○ゲストティーチャー等は、あいさつに加え、一言プラスの声かけをする。	B	○取り組み内容の共有が十分でない。活動前にゲストティーチャーに取り組みの説明を行い、協働して取り組めるようにする。
時間外勤務の削減	⑦時間外勤務が月45時間以内におさまる職員の割合を85%以上にする。	学校	19:00施錠の徹底	○職員は週に3回以上、18:45時までに学校をでる。 ○緊急の場合を除いて、学校への連絡や折り返しの電話は18時までにする	B	○時間外勤務月45時間以内職員の割合を85%以上76%（4月～1月の平均） ○18:30の声かけの徹底を行い、18:45前の退庁の積み重ねで月45時間以内を目指す。
		家庭	子ども相談等の時間内の対応		A	
		地域			A	